

特殊講義(ACFE)

濱田 眞樹人

授業の目的

2011 年は一流と言われた上場会社における経営者不正が相次ぎ発覚し、止むことのない企業不正の防止と発見に関する議論が高まっている。本講義は、資産横領や財務諸表不正などをもたらす企業不正のリスク要因および具体的な手口に関する理解を通じて、監査人や経営管理者に求められる企業不正リスク評価や対応力の基礎となる知識の習得を目的とする。米国の公認不正検査士協会(Association of Certified Fraud Examiners, ACFE)による「職業上の不正」の体系図に沿ったカリキュラムに基づき、最近の日本企業における企業不正事例の考察を織り交ぜながら、受講者の企業不正リスクへの理解促進に資する内容とする。

授業の概要

本講義は、企業不正の防止と発見に関するトレーニングの専門職組織である ACFE による知見を基礎としている。企業不正リスクに関する概論を踏まえ、主要な不正スキームについての解説および事例研究という2段階構成で理解を深める。さらに、2008 年7月に米国公認会計士協会(AICPA)、内部監査人協会(IIA)、ACFE が後援して公表された「企業不正リスク管理のための実務ガイド」に示されたフレームワークをもとに、企業不正リスク管理の要点を学習する。本講義の到達目標は、企業不正の防止と発見に関する理解を通じて、監査人または経営管理者として企業不正リスクに適切に対応する基礎を形成することにある。

成績評価の基準・方法(配点割合)

次の3つの要素を基礎に成績を決定する(配点割合は、概ね次のとおり。)

授業への出席および積極的な参加(35%)、各回の課題への取り組み(30%)、試験(35%)

使用教材・教科書・参考文献・予習事項・宿題ないし課題

教科書: 八田進二編著『企業不正防止対策ガイド 新訂版』(日本公認会計士協会出版局、2012 年、2,500 円+税)

予習事項: 授業内で指示する教科書の部分や教材を事前に読むこと。

課題: 授業内で指示する。

2013 年度授業計画

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	まず、授業の進め方、予習・課題への取り組み方、成績評価の基準・方法について説明する。その上で、本講義の中心テーマである不正(fraud)の定義を共有し、誰が、なぜ、どのようにして不正を犯すのかについて導入のディスカッションを行う。
2	不正リスク要因の理解	企業の社会的責任、コーポレート・ガバナンス、内部統制、コンプライアンスなどの概念を整理する。そのうえで、米国の犯罪学者クレッシーによる「不正のトライアングル」の仮説を中心に、不正の発生要因把握のフレームワークについて学習する。

3	不正を犯す側の心理から得られる教訓	企業不正の犯行者の立場から、企業不正の防止と発見を考える。
4	企業不正リスク管理の理解	米国公認会計士協会(AICPA)、内部監査人協会(IIA)、ACFE が後援して公表された「企業不正リスク管理のための実務ガイド」に沿って企業不正リスク管理について学習する。
5	不正スキーム解説① 資産の不正流用	資産の不正流用のスキームを類型別に整理し、防止・発見のポイントを学習する。
6	不正事例研究① 資産の不正流用	過去に発生した企業不正の事例を1つ取り上げ、スキーム、発生要因、発覚の経緯等を分析。事例の考察を通じ、発生要因、防止・発見への理解を深める。
7	不正スキーム解説② 不正な財務報告	不正な財務報告のスキームを類型別に整理し、防止・発見のポイントを学習する。
8	不正事例研究② 不正な財務報告	過去に発生した企業の事例を1つ取り上げ、スキーム、発生要因、発覚の経緯等を分析。事例の考察を通じ、発生要因、防止・発見への理解を深める。
9	不正事例研究③ 不正な財務報告	過去に発生した企業不正の事例を1つ取り上げ、スキーム、発生要因、発覚の経緯等を分析。事例の考察を通じ、発生要因、防止・発見への理解を深める。
10	不正スキーム解説③ 汚職	汚職のスキームを類型別に整理し、防止・発見のポイントを学習する。
11	不正事例研究④ 汚職	過去に発生した企業不正の事例を1つ取り上げ、スキーム、発生要因、発覚の経緯等を分析。事例の考察を通じ、発生要因、防止・発見への理解を深める。
12	近時の企業不正リスク① インサイダー取引	近時に問題となった企業不正の事例を1つ取り上げ、スキーム、発生要因、発覚の経緯等を分析。事例の考察を通じ、発生要因、防止・発見への理解を深める。
13	近時の企業不正リスク② 反社会勢力との取引	近時に問題となった企業不正の事例を1つ取り上げ、スキーム、発生要因、発覚の経緯等を分析。事例の考察を通じ、発生要因、防止・発見への理解を深める。
14	近時の企業不正リスク③ 子会社における不正	近時に問題となった企業不正の事例を1つ取り上げ、スキーム、発生要因、発覚の経緯等を分析。事例の考察を通じ、発生要因、防止・発見への理解を深める。
15	まとめ・試験	各回の授業の振り返りを行い、本講義を総括のうえ、試験を行う。